

平成24年度学内版 GP 成果報告書

取組名	地域づくりを牽引する技術者育成教育 －技術者の複眼的感性涵養のための「まち」なかキャンパス－
実施組織	工学部
実施責任者	土本 俊和
取組の目標	文化資源が豊富な須坂市を現場として、地域の文化に関する造詣と地域のニーズをふまえて新たな知を創造することができる、地域づくりを牽引する技術者を育成する教育プログラムを構築する。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>①講義</p> <p>講義題目：【3年次生対象・後期開講必修科目】 建築設計製図第4「街区の再生」・「民家の再生」：須坂市における歴史的建造物と歴史的市街区の再生案を提案した。須坂市（旧上高井郡役所）にて計10回の講義を行った。2月9日には市民公開講評会（須坂市シルキーホール）を開催した。</p> <p>講義題目：【2年次生対象・後期開講必修科目】 建築設計製図第2「住宅の設計」：須坂市内の敷地に3人家族用の住宅を提案した。1月12日から29日までの期間、須坂市（旧上高井郡役所）にて、成果物（設計図面）の展示会を開催した。</p> <p>②調査・研究</p> <p>旧小田切家住宅の保存・活用にむけた基礎調査【期間：通年】 旧小田切家住宅（平成24年に須坂市が取得）の建物について、敷地内にたつ建物の現状やかつての用途を把握するなど、保存・活用にむけた基礎調査を実施した。</p>
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	本年度には、歴史的な建造物が数多く遺存しているものの、町づくりの方向性が不明瞭な中心部を敷地とし、歴史的な建造物の活用に関する課題を設定した。これをうけ、来年度には、須坂市中心部に位置する旧小田切家住宅を対象とし、さらに具体的に、建物や町の再生、文化財の保護、歴史を活かした町づくりに関する課題を設定する。